

KH/KL15xxA導入・メンテナンスガイド

目次

KH/KL15xxA導入・メンテナンスガイド

目次

- 【必ずお読みください】 ご注意
- 当マニュアル内での表現について
- 箱を開けてからの、セットアップの流れ
 - ※本体/モジュールのバージョンの最新化について
 - ※PCにシリアルポート(comポート/RS232C)が無い場合
- 本体最新化の手順
 - KH15xxAの場合
 - KH15xxAiの場合
 - 「ipcard」と「ipcard(FHD)」の違い
- KH15xxA本体をアップグレードする
 - KH15xxAiをアップグレードする場合
 - 旧バージョン
 - 新バージョン
- コンピューターモジュールをアップグレードする
 - 設定確認
 - モニターの設定
 - 既知の問題・HPE製Gen10サーバーで画面が表示されない問題について
- 電源投入

増設の流れ

- コンピューターモジュールを利用して、新規にKH15xxAを購入した場合

FAQ

- 起動時のメニュー画面が表示できない
 - KH15xxAiまたはKL15xxAiでログインできない
 - コンピューターモジュールがオンラインにならない
 - KA7168 / KA7169がオンラインにならない
 - サーバーが起動したままでもセットアップして利用できるか?
 - 本体ボタンのLEDが全て点滅していて、画面が表示できない
 - 再起動を繰り返すようになってしまった
-

【必ずお読みください】 ご注意

- 当ガイドは製品マニュアルの補足を目的に作成しており、「開梱から使用開始するまでのセットアップ」と「増設時のメンテナンス」時の簡易ガイドとして作成しています
- 詳細の手順を割愛していますため、手順詳細の確認をされたい場合は、製品マニュアルをご参照ください
- 弊社製のKVM製品やマニュアルは、予告なく仕様変更などが行われます
- 弊社では、製品に対しての技術サポートの提供は最新版のファームウェアでのご利用が前提となります。過去バージョンでは発生している問題・障害に対してはまず最新でのアップグレードを実施してからご確認ください
- 仕様変更によって、最新のハードウェアでは過去のバージョンのファームウェアに書き換えを行えが出来ない、強制的に行った場合に製品が動作不能になるおそれがございます。弊社では同製品内の過去互換性についてはサポート外となりますため、ご理解頂きますよう何卒お願い申し上げます
- ご利用から3年以上経過した製品については、仕様変更に伴い最新のファームウェアはご利用頂けない可能性がございます。この経過した製品への技術サポートの提供は不可となります。この場合に対しては、製品がアップグレードが出来るまでのバージョンへ上げてから、動作確認を行ってください。もし、改善が見られなかった場合は、製品リプレイスでの解決による方法をご検討いただきますようお願い申し上げます

当マニュアル内での表現について

- 便宜上、以下のモデルをまとめて「KH15xxA」と表現しています
 - KH1508A
 - KH1508Ai
 - KH1516A
 - KH1516Ai
 - KH1532A
 - KL1508A
 - KL1508Ai
 - KL1516A
 - KL1516Ai
- これらのモデルはOSDならびに基本機能、設定方法がほぼ共通しているため、当マニュアルで読みかえてください
- また、以下の製品はまとめて「コンピューターモジュール」と表現しています
 - KA7120
 - KA7130
 - KA7166
 - KA7168
 - KA7169
 - KA7170
 - KA7520
 - KA7570
 - KA7970

- これらの製品は、サーバーに取り付けてKH15xxAにストレート配線のLANケーブルで接続するためのアダプターです

箱を開けてからの、セットアップの流れ

- 以下の流れでの準備を行ってください

1. 本体のバージョンの最新化
2. コンピュータモジュールの最新化
3. 設定確認
4. 電源投入

※本体/モジュールのバージョンの最新化について

- 弊社製のKVM製品は製造時では最新のファームウェアを搭載した状態で出荷されますが、物流などの要因によってお客様のお手元に届く前に、更なる最新版が公開がされているおそれがございます。そのため、実際に構築・利用する前に必ず最新版か確認を行ってから、構築を行ってください

※PCにシリアルポート(comポート/RS232C)が無い場合

- KH15xxAシリーズはシリアル通信によるファームウェアアップグレードが必須となります。アップグレードは製品同梱の専用のケーブルを使って行います



- もし、お手元のPCにcomポートが無い場合は、弊社製USB変換アダプター「UC232A」があり、このデバイスによるアップグレードを動作確認していますため、必要に応じてご用意ください



<https://www.aten.com/jp/ja/products/modelno/UC232A>

本体最新化の手順

- ファームウェアアップグレード用のアプリを弊社の製品ページから最新バージョンをダウンロードします

<https://www.aten.com/jp/ja/products/modelno/KH1508A>

<https://www.aten.com/jp/ja/products/modelno/KH1508Ai>

KH15xxAの場合

- 製品ページの「サポートとダウンロード」から最新版のファームウェアをダウンロードしてください
(※以下は2020年4月2日時点のスクリーンショットとなります)

ファームウェア▼

説明	バージョン	リリース日	ファイル名
Firmware Upgrade	v1.1.103	2020-03-27	kh1532a_v1.1.103.zip
Firmware Upgrade	v1.1.102	2019-03-27	kh1532a_v1.1.102.zip
Firmware Upgrade	v1.1.101	2019-02-11	kh1532a_v1.1.101.zip

KH15xxAiの場合

- メインボードの「Local」と「IP Card」それぞれの最新版のファームウェアを製品ページからダウンロードしてください

ファームウェア▼

説明	バージョン	リリース日	ファイル名
IPカード			
IP Card	v1.5.142	2018-10-31	kh1508ai_1516ai_icard_v1.5.142.zip
IP Card	v1.4.138	2018-06-15	kh1508ai_1516ai_icard_v1.4.138.zip
IP Card	v1.4.137	2018-06-15	kh1508ai_1516ai_icard_v1.4.137.zip
IP Card	v1.4.136	2017-05-16	kh1508ai_1516ai_icard_v1.4.136.zip
IP Card (FHD)			
IP Card	v2.1.207	2020-02-04	kh1508ai_1516ai_fhdicard_v2.1.207.zip
IP Card	v2.1.205	2019-05-06	kh1508ai_1516ai_fhdicard_v2.1.205.zip
IP Card	v2.1.201	2018-05-22	kh1508ai_1516ai_fhdicard_v2.1.201.zip
メインボード			
Local	v1.5.146	2020-01-09	kh1508ai_1516ai_local_main_dongle_v1.5.146.zip
Remote	v1.5.146	2020-01-09	kh1508ai_1516ai_remote_main_dongle_v1.5.146.zip
Remote	v1.5.144	2019-05-16	kh1508ai_1516ai_remote_main_dongle_v1.5.144.zip
Local	v1.5.144	2019-05-16	kh1508ai_1516ai_local_main_dongle_v1.5.144.zip

- LocalはKVM本体のアップグレード、ipcardはネットワーク部のアップグレードで、それぞれが必要となります

「ipcard」と「ipcard(FHD)」の違い

FHD



Non-FHD



- 「ipcard」は旧バージョン、「ipcard(FHD)」はマイナーチェンジモデル(現行製品)用のプログラムとなります。確認方法としては、本体正面にある弊社のロゴ印刷が「Altusen」ならば旧バージョン、「ATEN」はマイナーチェンジ後の製品となります

KH15xxA本体をアップグレードする

- 詳細の手順は製品マニュアルの「ファームウェアアップグレードユーティリティ」を併せて参照してください
- 製品マニュアルは予告なく、更新が発生することがございます。その場合は、製品ページの「サポートとダウンロード」から新しいマニュアルにてご確認ください

https://assets.aten.com/product/manual/jp-manual/KH1508A_1516A_1532A_Japanese_20171129.pdf

- KH15xxA本体のメニュー画面から「F4:ADM」から「Firmware upgrade」を選択してください



- この時に、KH15xxA本体のファームウェアバージョンが確認できます。もし、本体と最新版のバージョンが同じである場合は、この作業は割愛できます



- キーボードで[y]キーと押すと、KH15xxA本体のアップグレードモードに入ります。このモードになってからPCにてダウンロードしたアップグレード用アプリを起動し、アップグレードを行ってください
- アップグレードが完了するとKH15xxAは自動的に再起動し、ログイン画面が表示されたら完了です

KH15xxAiをアップグレードする場合

- ネットワーク部のアップグレードをする場合は、KH15xxAiとPCをLANケーブルで接続し、ブラウザからログインしてください。KH15xxAi初期IPアドレスは「192.168.0.60/255.255.255.0」です

旧バージョン



- ログイン後、「Maintenance > デバイスファームウェア」にて、KH1516Ai_icard_V1.5.142.007.fwなどの旧バージョン向けの最新ファームウェアを参照し、アップグレードボタンを押してください
- アップグレード完了後、自動的にKH15xxAiは再起動を行い、起動したら完了します

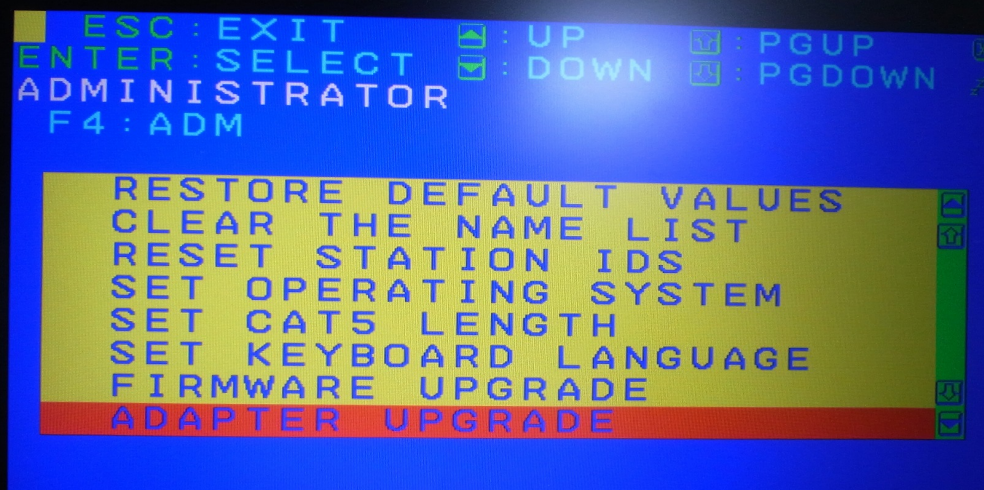
新バージョン



- ログイン後、「Maintenance > メインファームウェアのアップグレード」にて、KH1516AI_KL1516AI_For_iCard_V2_1_205.006.csfなどの新バージョン向けファームウェアを参照し、ファームウェアアップグレードボタンを押してください
- アップグレード完了後、自動的にKH15xxAiは再起動を行い、起動したら完了します

コンピューターモジュールをアップグレードする

- KH15xxAのアップグレードが完了したらKA7570、KA7970などサーバーのVGAやUSBコネクタに取り付けて、KVMに接続するためのコンピューターモジュールのアップデートを行います
- コンピューターモジュールはサーバー側のUSBコネクタから給電されて起動するようになっていきます。この時には一時的に起動しているサーバーにUSBコネクタを取り付けて給電させるか、スマートフォン用のUSB充電アダプターに接続し、一時的に給電された状態でアップグレードを行ってください
- KH15xxA本体のメニュー画面から「F4:ADM」から「adapter upgrade」を選択してください。「Firmware Upgrade」の1つ下にあります



- コンピューターモジュールがUSBコネクター側から給電され、正常に起動できていると下のよう
にバージョン名が表示されています



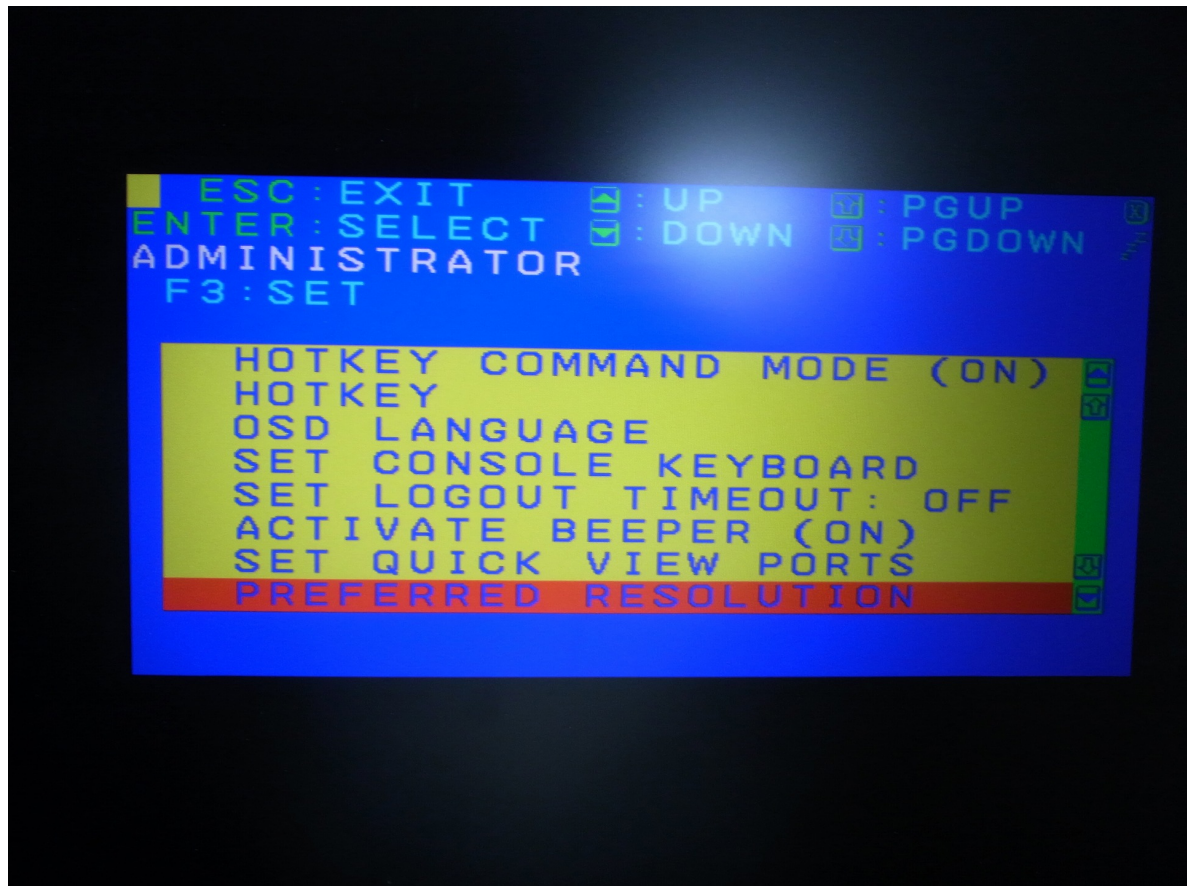
- キーボードで[y]キーと押すと、KH15xxA本体のアップグレードモードに入ります。このモード
からPCにダウンロードしたアップグレード用アプリを起動し、アップグレードを行ってくださ
い。アプリはKH15xxA本体のものと同一ものを使用します

- アップグレードが完了するとKH15xxAは自動的に再起動し、ログイン画面が表示されたら完了です

設定確認

モニターの設定

- 構築前にKH15xxAがモニターから解像度情報(EDID)を取得する時の設定を行ってください



- 1920x1080や、1600x900などモニターの解像度が1280x1024以上の解像度を使用する場合は、メニュー画面から「F3:SET > preferred resolution」から「Monitor default setting」を選択してください



- KH15xxAiで、モニターを接続しない場合はサーバー用ビデオカードドライバーでも対応していることが多い、汎用的な解像度である「1280x1024」「1024x768」「800x600」から選択することをおすすめします

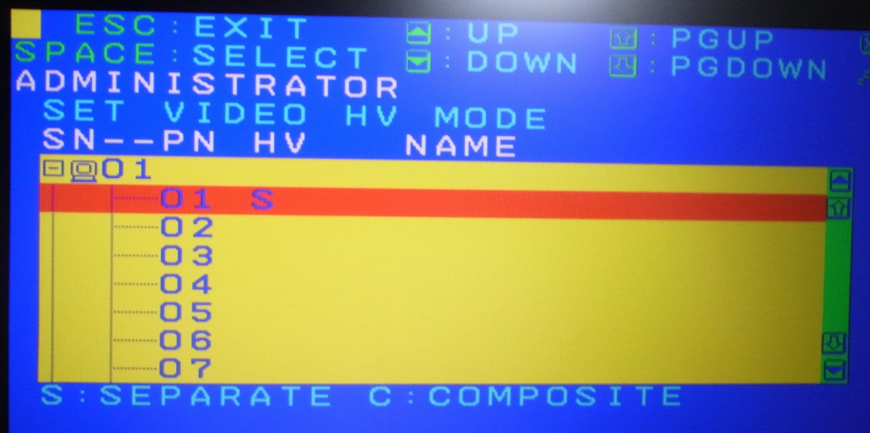
既知の問題・HPE製Gen10サーバーで画面が表示されない問題について

- HPE製Gen10サーバーなどで、過去のバージョンによって画面が表示されない問題が確認されています。問題の詳細については、下記URLをご参照ください

<https://www.aten.com/jp/ja/supportcenter/support-info/si180420/>

<https://eservice.aten.com/eServiceCx/Common/FAQ/view.do?id=6601>

- この問題については、既にHPE製サーバーのsystem ROM/iLO Firmwareをv1.40以降へアップグレードし、「VGA Port detect Override」の項目を有効にすることで解決が確認されていますが、アップグレードが不可である場合、KH15xxAシリーズでは、設定による回避が出来るケースがございます
- 設定方法はメニュー画面から「Set Video HM mode」の項目にて、「C」へと変更してください



- 通常のサーバーと接続する場合は「S」での設定でご利用ください
- KA7970を使用した場合、設定による回避は出来ません。この場合は弊社別売の専用変換アダプタ「2A-140G」を取り付けることで解決を行ってください

電源投入

- 設定が完了してから、一度KH15xxAの電源を落とし、以下の順番で電源を投入してください
 1. モニター
 2. KH15xxA本体
 3. (KH15xxAのメニュー画面を表示確認してから)サーバー
 - この順番を守らず、ブレーカーやUPSなどの一斉電源立ち上げをした場合、サーバーがKVM経由でモニターの解像度情報を取得できず、映像が表示できないおそれがあります
 - これでKH15xxAのセットアップは完了です
-

増設の流れ

- KH15xxAが対応するバージョンよりも新しいコンピューターモジュールを増設する場合は、必ずKH15xxA本体のファームウェアアップグレードを行ってから増設を行ってください
 - アップグレード作業を行わずに接続した場合は、以下の問題が発生する事がございます
 - コンピューターモジュールが認識されない
 - 画面が表示されない
 - キーボード/マウスが反応しない
 - アップグレード方法については、同ページの[「KH15xxA本体のファームウェアをアップグレードする」](#)以降をご参照ください
-
- コンピューターモジュールによっては、製品ページの更新が遅れているために、KH15xxAのファームウェアに収録されているものより最新版よりも新しいバージョンが導入されているものが、まれにございます。この場合は、KH15xxA本体のファームウェア最新版であれば動作することを確認しておりますため、そのままご利用ください

コンピューターモジュールを利用して、新規にKH15xxAを購入した場合

- こちらの場合も、新規でKH15xxAを購入した際の流れを元にセットアップを行ってください。また誠に恐れ入りますが、ご購入から3年以上経過しているコンピューターモジュールは内部メモリの変更などの仕様変更からハードウェア上の互換性が喪失し、ファームウェアアップデートが出来ないケースがございます。この場合は、新規でコンピューターモジュールをご用意いただきますようお願い申し上げます

FAQ

- 以下の記事以外にも、弊社技術サポートサイト「eSupport」では随時FAQを公開しているため、併せてご参照ください
- 検索ワードには問題に関する単語の他にも、型番入力での検索にも対応しています

https://eservice.aten.com/eServiceCx/Common/FAQ/list.do?lang=ja_JP

起動時のメニュー画面が表示できない

- KH15xxAの旧バージョンを640x480@75hzに対応していないモニターに接続した場合、メニュー画面が表示できないことがございます。この場合は、キーボードの[F10]キーを押して800x600@60hzへの解像度へ変更を行ってください

KH15xxAiまたはKL15xxAiでログインできない

- KH15xxAとは異なり、初期設定でusernameは「administrator」 passwordは「password」と登録されています
- ネットワーク機能が搭載されているKH15xxAiはセキュリティの観点から、この型番でのログイン画面の無効化はできません
 - ※KH15xxAはuser name/password共に入力せずに[enter]キー2回を押してログインが出来ます
- また、KH1508AiはFHDバージョンについて2020年からアメリカ合衆国カリフォルニア州にて施行されたIoTセキュリティ法に準拠するため、v2.1.207より初回起動時にデフォルトパスワードの変更が必要になります

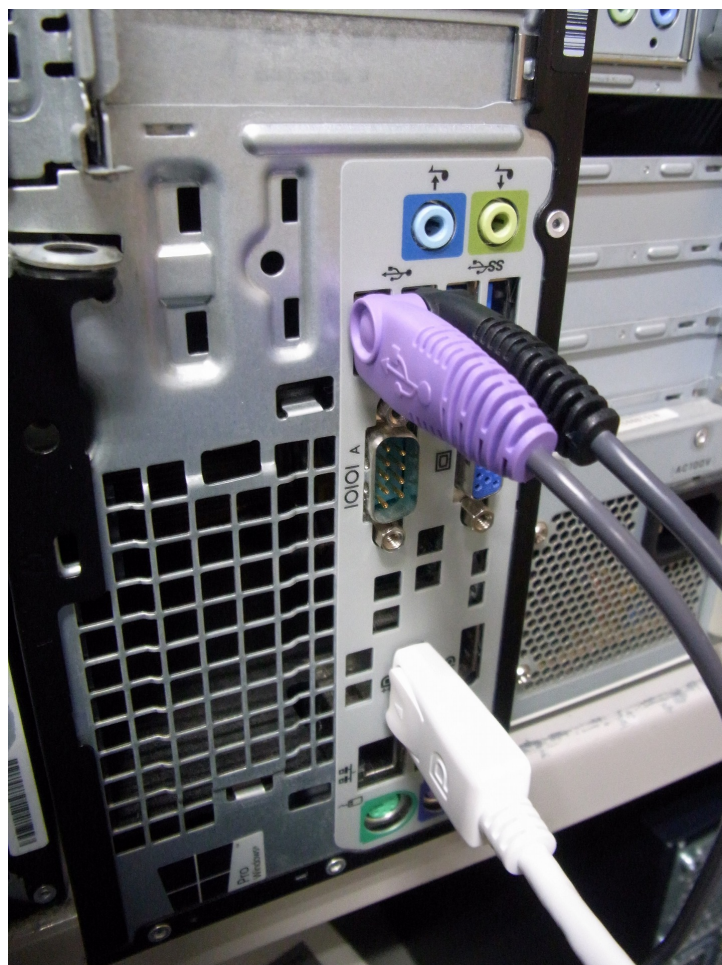
コンピューターモジュールがオンラインにならない

- コンピューターモジュール本体の側面にあるスイッチが「RECOVER」になっていないかご確認ください。復旧させる方法は、一度コンピューターモジュールをサーバーから取り外し、電源をオフにしてから「NORMAL」の位置に合わせてサーバーを接続してください



KA7168 / KA7169がオンラインにならない

- コンピューターモジュールによっては、サーバー側にUSBコネクター(黒/紫色)を2つ挿す製品がございます。これらは2つ同時に接続してご利用頂くことを前提に設計されています。そのため、両方がしっかり接続されているか再度抜き差ししてご確認ください

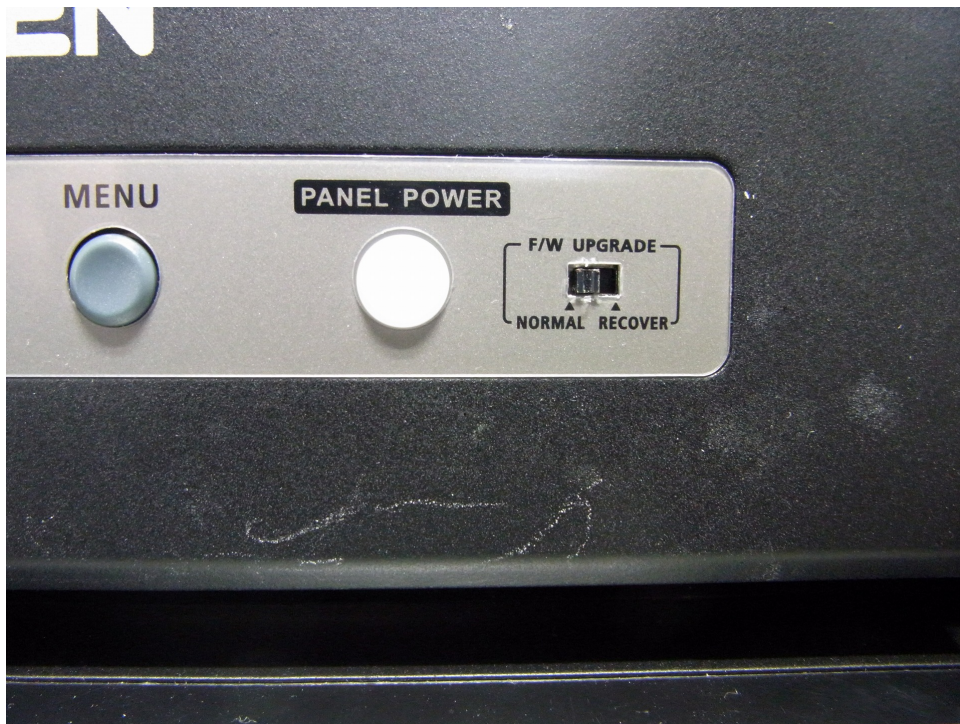


サーバーが起動したままでもセットアップして利用できるか？

- コンピューターモジュールの各コネクタによって可能/不可となります
 - USBコネクタでの挿抜は一般的なキーボードマウス、他デバイスとWindowsOS上では専用ドライバが不要なUSBデバイスとして認識されるため、セキュリティの制限を掛けていない場合であれば、そのままご利用いただけます。
 - PS/2コネクタは規格上ホットプラグに対応していないため、コネクタを外すと再度接続してもそのデバイスを再認識できず、サーバー側の再起動が必要となるのが殆どです。
 - VGAのコネクタはサーバー側の仕様によりますが、例えばHPE製Gen10サーバーでは、サーバーの起動時にしかモニター情報を取得しない、というような挙動が発生します。そのため、サーバーが起動している状態でVGAコネクタを接続してもモニターに表示する映像が大きくずれる、「Out of range」など一時的に非表示になってしまう可能性があります。

本体ボタンのLEDが全て点滅していて、画面が表示できない

- KH1508Aの本体正面や、KL1508Aなどは液晶下の「F/W UPGRADE」のスイッチが「RECOVER」になっていないかご確認ください。復旧させる方法は、一度KH15xxAi電源の電源をオフにしてから「NORMAL」の位置に合わせて再度電源を入れてください



- (写真はKL1508Aの例となります)

再起動を繰り返すようになってしまった

- 環境にもよりますが、3年以上使用していて以下の状況が該当している場合、本体電源部の経年劣化によって起動できなくなっているおそれがあります。この場合は修理でのご対応となります
 - 再起動を繰り返す

- この間にモニター画面に何も表示されない
- 電源ONのあいだ、ずっとビープ音が本体から「ビー」と鳴り続けている